SDGs達成に向けた取組みチェックリス 新規　事業者名：株式会社三和EX熊本

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

基本項目記入数 25　チャレンジ項目記入数 14

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット) 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・内部管理体制においては、適正な価格設定と顧客満足度の向上を常に意識し、これらの方針を日々の業務を通じて社員に伝えている。 ・経営目標を全社員と共有することで、その実現に向けて一人ひとりが主体的に取り組んでいる。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守に関する事項は、就業規則に明記している。 ・法令遵守の重要性を社内に掲示することで、全社員が意識し、遵守する体制を構築している。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・公正な競争を重視しており、自社で定めた価格表に基づいて適正価格を維持し、すべてのお客様に対して公正かつ透明性のある価格でサービスを提供している。 ・業界内での価格競争においても、極端な値引き交渉や不当な価格設定には応じず、品質と信頼を重視した取引を全社員で行っている。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・社長自らが担当者として、自社の事業活動が環境や社会に及ぼす影響についてバリューチェーン分析を通じて正と負の影響を把握し、課題の解決に取り組んでいる。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・図面などの資料については著作権の観点から厳格に管理を行い、「ニューモラルスタンダード」の表記を明確にすることで、第三者による無断使用や模倣を防止するとともに、当社の技術力やノウハウを保護する体制を構築している。また他社の知的財産保護の観点から全く違う提案をしていく。								8.2 8.3	9							16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報については経理担当者のみが閲覧できるように制限し、パソコンおよび書類ベースでの管理を徹底することで、情報漏えいを防止している。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	●		・ステークホルダーとの継続的な対話を重視し、信頼関係の構築とサービス向上を目指している。 ・引き渡し後のお客様に対しては、電話やSNSを活用したアフターフォローを行い、使用状況や満足度、ご要望など迅速に対応することで、顧客満足度の維持・向上に繋げている。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・取引先が製品の企画段階から環境に配慮した設計を行い、製品のライフサイクル全体を見据えて環境負荷を可能な限り低減するモノづくりを目指している。 ・環境法令を遵守しつつ、より高い環境性能を備えたエコ商品の販売や施工に取り組むことを日々共有し認識している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・事業継続力強化計画を策定し、年に一度見直しを行うことで緊急事態に備えた対策を講じている。									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・税理士と相談のもと最近現経営者への世代交代を開始。株の所有権なども役員も含め移行している。 ・新たな体制のもと、従来の経営方針や価値観を継承しつつ、時代の変化に即した柔軟かつ前向きな経営を実施している。 ・次期経営者となる若い世代もすでに入社しており、将来を見据えた育成を行っている。								8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・差別やハラスメントの禁止について就業規則に明記し、差別のない職場環境を整備している。 ・社長との1on1面談を定期的に実施し、相談しやすい職場環境づくりに取り組んでいる。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・労働安全衛生講習会や現場ごとの講習会に参加し、安全な職場環境の整備に注力している。 ・現場でのヒヤリハット事例を都度共有することで、事故防止の体制を構築している。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・就業規則に正社員・パート社員を含む全社員への公正な待遇を明記している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・基本的に時間外労働はなく、家庭と仕事の両立が図られている。 ・フレックス制度や副業制度を就業規則に明記し、利用しやすい体制を整えることで働きやすい職場環境を構築している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・資格取得については、研修費用や助成や資格手当の支給を就業規則に明記し、積極的に取得を推奨している。 ・メーカー主催の研修会に積極的に参加し、実際に機器を操作しながら最新技術や施工方法を習得することで、実践的なスキルを磨き、即戦力となる人材を育成している。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・社員の健康診断費用を補助し、健康管理の負担軽減に取り組んでいる。 ・社長自らが社員一人ひとりと面談を行い、健康診断の結果を確認しながら健康管理を徹底している。 ・協会けんぽのヘルスター認定を取得し、健康経営の実践を推進している。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・雇用に年齢制限を設けず、高齢者や外国人をはじめ、誰もが活躍できる多様性あふれる職場環境を整備している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・フレックス制度やテレワーク制度を就業規則に明記し、多様な働き方を推進している。 ・感染症対策を徹底するとともに、お客様対応においてはZOOMなどのWEBツールを活用できる体制を構築している。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・WEBカタログを積極的に活用し、業務の効率化とペーパーレス化を推進するとともに、情報共有の迅速化と顧客サービスの向上を実現している。								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリス 新規　事業者名：株式会社三和EX熊本

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

基本項目記入数 25　チャレンジ項目記入数 14

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット) 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・廃棄物は厳格に分別し、適切な処理業者へ委託するとともにマニフェスト伝票で適正に管理・処理している。 ・スレート屋根材は特定の処理工場に依頼し、安全かつ適切に廃棄している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・CO_2排出量算定システム「炭削くん」を活用し、自社のエネルギー使用量を可視化し削減に取り組んでいる。 ・事務所および倉庫の照明をすべてLED化し、営業車にはハイブリッド車を導入するとともに、低騒音型発電機を使用することでエネルギー消費の削減に取り組んでいる。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・CO_2排出量算定システム「炭削くん」を活用し、自社のCO_2を可視化し排出量削減に取り組んでいる。 ・事務所および倉庫の照明をすべてLED化し、営業車にはハイブリッド車を導入するとともに、低騒音型発電機を活用することで、エネルギー使用量の抑制を図り、温暖化防止に貢献している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事務所および現場において廃棄物の分別を徹底し、環境への負荷を抑えるため適切に処理を行っている。 ・無公害成分を含む洗浄剤「アクトル」を使用することで、土壌や水質への影響を最小限に抑え、環境への配慮を実践している。 ・事務所および現場周辺の清掃活動を定期的に実施し、地域の自然環境や生態系への悪影響を防いでいる。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・コンクリート型枠は繰り返し再利用することで、資材の消費削減と廃棄物の発生を抑制している。 ・発生した廃材は資材置場の下敷きとして再活用し、無駄のない運用を実践している。 ・ペーパーレス化を推進する一環として、裏紙の再利用を徹底している。 ・廃材を粉砕して再利用した「エコタスフェンス」やリサイクルアルミ材を活用した「PremiAL」を使用した施工を行っている。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・蛇口には節水コマを装着し、日常的な水の使用量を効果的に抑制することで、水資源の保全に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・リウッドデッキ200はリサイクル素材を活用し、木材の質感を再現することで環境負荷を軽減している。 ・廃材を粉砕して再利用した「エコタスフェンス」やリサイクルアルミ材を活用した「PremiAL」を使用した施工を行っている。 ・LIXILやYKKの環境に配慮したエコ商品を積極的に採用し提案・施工している。 ・スマートクイック基礎工法等の省施工を実施することで、基礎のサイズを小さくすることで発生する残土量や使用するコンクリート削減に繋がり環境へ配慮している。 ・無公害成分「アクトル」など環境に優しい製品を積極的に使用している。 ・図面以外は再生紙を活用し、資源循環に貢献している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・お客様に対して緑化を促進する提案を積極的に行い、持続可能な環境づくりに貢献している。 ・事務所内では観葉植物を配置し、管理することで快適な職場環境と緑の保全に取り組んでいる。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。		●	・事務所および倉庫の照明をすべてLED化し、エネルギー効率化に取り組んでいる。 ・節電意識向上のためスイッチ付近に注意喚起の掲示を行い、全社員へ周知徹底している。 ・施工に使用されているソラリアテラスの屋根材は、屋外空間の有効活用を実現するとともに、熱線を遮断することで室温の上昇を抑える効果を発揮している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・ごみの分別を徹底し、廃棄物の適正管理とリサイクル率の向上に取り組んでいる。 ・材料の梱包資材を可能な限り縮小し、プラスチックごみの削減を実現している。 ・社内で水筒やマグカップの使用を推奨し、使い捨てプラスチックの削減に寄与している。 ・お客様への提供時には紙コップや紙パックを採用し、環境負荷の低減に取り組んでいる。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	・現場への移動時には可能な限り乗り合わせを実施することで環境に配慮した取り組みを推進している。									9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリス 新規　事業者名：株式会社三和EX熊本

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

基本項目記入数 25　チャレンジ項目記入数 14

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・現場責任者および社長が最終チェックを実施し、製品・サービスの安全性と品質を厳格に確認し、高い品質水準を維持している。 ・完了検査チェックリストを活用し、工程ごとに品質を確実に管理する仕組みを整備し、お客様に安心・信頼のサービスを提供している。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・ピクトグラム付きの看板を設置することで、誰にでもすぐ理解できる案内を実現している。 ・ユニバーサルデザインの「パートナーUDフェンス」を採用し、手すりについては使う人に合わせた樹脂笠木により熱い・冷たい感触を和らげ、使う人に合わせた施工を行っている。 ・雨天時でも滑りにくい表面加工されたタイルやコンクリートを使用することで滑りにくい施工を行っている。 ・視認性の高いデザインや夜間も見やすい照明を設置することで安全性と快適性の向上に取り組んでいる。 ・開閉しやすい門扉や低いフェンスを採用することで誰もが簡単に利用できるようにしている。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・熊本県産材のブロックや木材を使用し、地産地消を促進している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	・事務所の天井、壁、窓枠に木材を積極的に採用し、自然素材を活かした木質化を推進し、温かみのある快適な空間づくりを行っている。							7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・プラン提案時には、緑化機能を備えたブロックや舗装材など環境負荷の低減やヒートアイランド対策に寄与する製品の使用を積極的に勧めており、景観性と機能性を兼ね備えた外構づくりを通じて社会課題の解決に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・地域清掃活動やボランティア活動に積極的に参加し、地域環境の美化と住みよい街づくりに貢献している。 ・災害時の応援協力をはじめ、地元の部活動への協賛や遠征支援の寄附などを通じて、地域社会とのつながりを大切にしながら、持続可能な地域づくりに寄与している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・事務所および各現場においてハザードマップや避難場所を社員全員に周知し、有事の際に迅速かつ的確に対応できる体制を整えている。 ・ヘルメット、懐中電灯、飲料水などの防災グッズを常備し、災害発生時の初動対応力と事業継続計画（BCP）を高めるための備えを強化している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	・水害リスクに対応し止水板の設置をはじめとした浸水対策を積極的に提案し、建物や敷地の安全性向上を支援している。 ・自動ドアや地下出入口に設置可能な自動昇降式止水装置を提案し、緊急時でも迅速かつ確実に対応できる防水環境の構築を実現している。 ・軽量で耐久性に優れたアルミ素材を採用した製品を展開し、扱いやすさと長寿命を両立させた実用性の高い防災ソリューションを提供している。 ・火災リスクへの対応として、不燃素材の使用も積極的に提案し、安全性を総合的に高める商品開発と販売に取り組んでいる。									9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・SDGsに対する理解を深めるための社員教育を定期的に実施しており、全社員が日常業務の中でSDGsを意識し行動できる環境づくりを進めている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●					4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17
			25	25																		

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。